

# 2015年10月2～4日；四日市東日本大震災支援の会 第28回派遣 宮城県東松島市 大交流会 & 福島県葛尾村交流ボランティア

(暫定版 Ver.1) 2015年6月1日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

宮城県東松島市では、集団移転が進んでいますが、まだ仮設住宅で不自由な暮らしを続けているお年寄りが多くいます。今回は、矢本運動公園仮設住宅自治会の皆さんが中心になって開催する大交流会に参加します。この交流会は、新しい移転先の住人、集団移転先周辺の住民も巻き込んだものです。この交流会には青森から「ねぶた」運行もあります。支援の会は、恒例の足浴&お茶会、津軽三味線の演奏、ねぶた運行時の交通整理、屋台の手伝いなどを行います。

また、原発事故で全村避難が続いている福島県葛尾村は、来年の帰村に向けた準備が進められています。活動2日目は、葛尾村民が避難生活をおくる三春町で、仮設住宅3か所で、足浴&お茶会、津軽三味線演奏会を開催します。

宮城県東松島市；宮城県石巻市の西、松島町の東に位置し、2011年の東日本大震災では、沿岸地域だけでなく、海岸線から数キロ内陸まで津波が押し寄せ、住宅地の65%が浸水し、たくさんの方が亡くなり、多くの家屋が全壊・流失の被害を受けました。

福島県葛尾村；福島県浜通りの山村で、原発事故の影響を受けて全村民が避難中です。まだ廃炉の見通しが立たず、除染も思うように進みません。まだ自宅に住むことができませんが、ふるさと葛尾村を取り戻すため、頑張っています。

\*葛尾小学校・葛尾中学校の校歌を、昨年末に暁中学・高等学校合唱部が録音しました。

## <活動場所>

- 矢本運動公園仮設住宅
- 葛尾村仮設住宅(三春町)

## ★申込方法・参加費

**申込**：以下の情報・書類を学校で取りまとめます。

★氏名・フリガナ・性別・生年月日・郵便番号・住所・携帯番号・緊急連絡先

★保護者と参加者本人がサイン・捺印した**参加同意書を提出**してもらいます。

**参加費** \*今回の活動では、集会所ではなく民宿で宿泊するため、参加費が高くなっています。

生徒・学生 16,000円 (スタッフ(現地で5日以上活動を経験した支援の会会員)は9,000円)

一般社会人 28,000円

## <費用の内訳>

- ・四日市大学ー宮城県の往復バス・現地での移動、3日の昼食、入浴
- ・ボランティア活動保険・旅行保険

★2日の夕食・3日朝食・夕食・4日朝食・昼食は各自負担です。

## **申込先・参加費支払先**

★四日市大学は鬼頭まで、看護医療大学は小寺まで。

★問合せ先：鬼頭；携帯電話：090-4266-2348

メール：[kito@yokkaichi-u.ac.jp](mailto:kito@yokkaichi-u.ac.jp)

## **キャンセルに対する考え方**

・支援の会は、極めて財政的にギリギリの運営をしています。突然のキャンセルがありますと、支援の会にとって大きな痛手となります。9月26日以降のキャンセルの場合、新たな参加者の募集は困難であり、食事・保険など節減が可能な部分の費用を除いた、生徒・学生 14,000円、一般社会人 26,000円のキャンセル料をお支払いいただきます。ご理解ください。



がんばろう、  
日本。

## <スケジュール概要>

### ★10月2日(金)

20:00 四日市看護医療大学 4階、40B 教室に集合

1. 参加者全員で直前ミーティング
2. 名札・ボランティア保険証書を配布します(活動中は必ず首にかけてください)

21:00 四日市大学出発(四日市大学バス停裏の職員駐車場)

1. 最初の休憩(刈谷)では夕食の購入、2回目の休憩で歯磨きなど寝る準備をしてください
2. 就寝(完全消灯をします。全席フルリクライニング)

### ★10月3日(土)

7:30 頃;春日サービスエリアで朝食(各自負担)と洗顔(30分程度の休憩)

8:30 矢本運動公園仮設住宅集会所に到着、降車・荷物搬入・ミーティング

9:00 足浴&お茶会

12:00 自治会役員さんたちと昼食会

14:00 大曲浜獅子舞

15:00 津軽三味線演奏会

17:00 ねぶた運行

21:00 東松島市宮戸島 民宿山根で宿泊(素泊まり)

### ★10月4日(日)

5:00 起床 片付け・掃除

6:00 バス出発(車内で朝食)

9:00 葛尾村仮設住宅 足浴&お茶会

20:00 頃 四日市大学帰着 ⇒ 片付け ⇒ 解散

## <持ち物(バス内では、座席には最小限の荷物だけを持ち込むこと)>

- ・筆記用具(活動中に記録をとる小さなメモ帳は必ず用意してください)
- ・健康保険証・常備薬・歯磨きセット
- ・お金(親戚やお友達などに、たくさん土産を買ってくることも、大きな経済的支援です)
- ・かさ・帽子・電池式携帯充電器
- ・エプロン(交流会では、全員が着用します)
- ・ボランティア活動保険証書(支援の会で加入し集合した時に配布します)
- ・マクラ・クッション・バスタオル・マスクなど(バス移動に利用)
- ・入浴用タオル、着替え、ビニール袋 ★往復のバスではトランクに入れる

## <注意点、守るべきこと>

- ・被災者の気持ちに寄り添い、傷つけるような言動をしないこと
- ・積極的に被災者に対し、家族や友人、お姉さん、お兄さんのように笑顔で接しましょう
- ・家族を失ったり、家を流されたり、被災者が大変な経験をしていることを常に忘れないでください
- ・指示されたことだけでなく、自分で考えて行動しましょう
- ・名前や職業・住所を聞くことは、基本的にNGです。深い絆ができれば、交換もOKです。
- ・写真撮影は深い絆ができてからにしましょう
- ・活動中の写真や映像が、ホームページや報道で使われることがあります。了承ください。

## <福島県内の平均空間放射線量>

福島県内の活動場所である三春町の仮設受託では、2015年5月21日の測定で0.1~0.2 $\mu$ Sv/hほどです。三重県での同日の測定値と比べて、1.5~3倍程度の空間線量であり、航空機で上空を飛んでいるときと比べても低い値です。

## <高速バス運行体制>

本会の東北派遣では、費用よりも安全という考え方を徹底しており、運転手2名体制での運行、運転手の現地での十分な休息確保をしております。そのため、現地での活動で不便なことがあります。ご了承ください。今後も、さらに安全運行を徹底するよう、会としても努力を続けます。

\* JTB総合提携店(株)第一観光(担当;黒田真史)を通じ、名阪近鉄 or 三重交通のバスで宮城県を往復します。